

特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権 2006 年度事業報告

特定非営利活動法人
ネットワーク医療と人権

●事業報告

I 事業期間

2006 年 4 月 1 日－2007 年 3 月 31 日

II 事業の成果

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権（以下、MERS）は、「薬害エイズ」－輸入非加熱血液製剤による HIV 感染問題－から得た教訓を活動の原点とし、薬害の再発防止、患者にとってより良い医療社会、感染症に対する偏見解消、差別撤廃などを目指している。

活動の基礎となる薬害エイズ調査研究事業において、「輸入非加熱血液製剤による HIV 感染問題」の事実検証が必要不可欠であると考え、その一環として血友病医療現場の調査を計画し、社会学研究者らと共に調査研究委員会を 2002 年に発足した。社会学研究者らは、文部科学省科学研究費補助金の基盤研究「輸入血液製剤による HIV 感染被害問題の社会学的研究」（2002-2005 年度、2006 年 3 月に研究成果報告書を発行）としても調査を遂行している。

本調査研究事業は、2002 年度より当時血友病患者を診ていた医師を中心に聞き取り調査を実施し、また被害当事者への予備的調査を実施した。2003 年度には第 1 次報告書を、2004 年度には第 2 次報告書を発行した。2005 年度からは、被害者（患者・家族・遺族）に対する調査を本格的に開始した。2006 年度は、調査チームを再編成・拡充し、また聞き取り調査の対象者の所属施設や居住地を中心とした施設ごと、地域ごとの調査を重点的に行った。

社会啓発活動としてのシンポジウム等の開催事業では、特に 2006 年 10 月にフォーラム「生命を育む思想－薬害エイズと医療－」を主催した。このフォーラムでは、調査研究事業の一環として行っている「輸入血液製剤による HIV 感染問題調査研究」の成果を中心に据えながら、「優生思想」「水俣病」「医療倫理」などを巡る諸問題を社会に問いかけた。のべ約 250 名の参加があった。

また関係団体の開催する各種イベント（医療講演会、シンポジウム、フォーラム等）への協力や後援を行った。これらのイベントなどを通じて、関係協力団体（全国薬害被害者団体連絡協議会、薬害肝炎訴訟関連団体、血友病患者ネットワークなど）との連携及び協力関係を一層強化することができた。

その他、大阪人権博物館の HIV/AIDS 特別展への出展資料の提供・監修、関連イベントの企画・準備作業に対して全面的な協力を行った。

これらのフォーラム開催やイベント取材の報告、各種薬害訴訟支援の経過・進捗の報告などを、ニュースレター発行・ホームページへの記事掲載によって行った。これらの情報発信により、賛助会員をはじめ一般市民への啓発活動を積極的に行うことができた。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

1.1 事業名：薬害エイズ被害者活動支援事業

【内容】

(1) 大阪 HIV 薬害訴訟原告団からの委託事業

- ・事務作業の補助：「薬害エイズ」被害者団体（大阪 HIV 薬害訴訟原告団）および、被害者が実施する相談活動（ピア・カウンセリング）や医療交渉活動を支援するとともに、会議・行事の準備など事務補助を日常的に実施した（主にニュース発送、情報収集、書籍等の購入、経理、資料作成・整理・保管、事務連絡、OA 機器・PC アプリケーション等の技術サポートなど）。
- ・医療体制構築への取り組み：原告団医療班が開催する医療会議へ参加し、議事録作成などの事務的な業務を担った。また各地のブロック医療協議の議題の取りまとめ・提出・協議への参加、さらに原告団が厚生労働省と協議するための「医療体制整備に関する統一要求書」の原案作成・要求事項の取りまとめなどを行った。

(2) 薬害エイズ遺族・患者・家族相談事業

- ・「遺族等薬害エイズ被害者相談事業」の事務補助を日常的に随時実施。内容は、主に医療等相談会の報告書保管、案内状・依頼状等の発送、資料整理と管理、相談員・関係者との連絡調整・経理などの業務を行った。また相談員活動の補助業務については、医療者等への連絡、病院や患者宅等への訪問相談補助を実施した。
- ・近畿ブロックでの医療等相談会では、大阪医療センター整形外科医師への講師依頼・連絡調整・コーディネート等を積極的におこなった。

1.2 事業名：薬害エイズ真相究明事業／調査研究事業

【内容】

調査研究事業を実施するために、養老孟司氏を委員長とする「輸入血液製剤による HIV 感染問題調査研究委員会（以下、調査研究委員会）」を設置し、社会学研究者を中心とした調査作業部会が医師・被害者の聞き取り調査・文献調査等を行ってきた。約 5 年間 MERS として調査研究委員会に実際の調査を委託してきた。

2006 年度 MERS 理事会では、調査研究事業のあり方を討議し、調査研究委員会に対して医師聞き取り調査に関する最終報告書作成を提案し、この報告書発刊をもって、調査研究委員会を一旦解散することを承認した。最終報告書については、この先 2008 年度内の発刊を予定している。調査研究委員会解散後の調査研究事業の進め方については、引きつづき MERS 理事会の中で継続して討議していく。

(1) 調査研究委員会・作業部会等

- ・調査研究委員会は、委員長－養老孟司、副委員長－村上陽一郎、委員として栗岡幹英、好井裕明、樫村志郎、蘭由岐子、種田博之、山田富秋、桜井厚（新規：06/7/23 より）で構成し、委員会運用規定により職務遂行した。
- ・調査委員会の下には、調査作業部会を設け、2006 年度は 3 回の研究会を実施した。この作業部会は、主に社会科学系の研究者 18 名で構成されている。さらに調査作業部会の中から地域ごと、施設ごとの各調査チームを編成し、その地域や施設においてキーパーソンとなる患者家族を研究協力者として加え、聞き取り調査・資料収集及び分析を行っている。
- ・調査研究委員会の委員と意見交換会を行い、調査研究委員会の解散、および医師聞き取り調査に関する最

終報告書作成に関して、概ね合意が得られた。今後正式な調査研究委員会を招集し、委員会としての決定を行うことになっている。

- ・医師聞き取り調査に関する最終報告書作成に関する具体的な作業分担・スケジュール等について、2007年3月に調査研究合宿の中で議論し、大まかな役割分担・スケジュールを決定した。

(2) 聞き取り調査・文献調査等

- ・2006年度は昨年度に引きつづき、被害者側の聞き取り調査を実施した。医師の聞き取り調査については、2005年度は事実上停滞していたが、地域ごと・施設ごとの調査チームを再編成し、徐々に聞き取り調査対象の範囲や回数を拡大していくことができた。
- ・聞き取り調査の概要は、北海道地域、東北（仙台）地域、関東地域、静岡地域、関西地域、広島地域、北九州地域において、医療関係者、患者・家族・遺族らの聞き取り調査をそれぞれ複数回実施している。
- ・2006年度は、研究体制および調査手法の再構築を図った。新たに加わった若手研究者が、研究チームメンバーとして円滑に調査を行えるよう資料の読み込み作業を行った他、MERSからは血友病やHIV医療に関するレクチャーを行った。また医療機関・地域のキーパーソンとなる患者を研究協力者として参画させ、調査を円滑かつ機動的に実施できる体制を整備した。被害者調査を通して、患者・家族・遺族と医療者との関係性から医療者を紹介してもらうなど、医師調査が徐々に拡大しつつある。
- ・2002年の調査開始から医師16名のべ30回（約60-70時間）の聞き取りを実施したことになる。

【実施場所】

(1) について

- ・調査研究委員会：7/23、東京都千代田区「スクワール麴町」
- ・調査研究委員会メンバーとの最終報告書作成に関する意見交換会：2/27、MERS事務所
- ・調査研究作業部会・研究合宿・勉強会等：神戸市西区UNITY、大阪梅田アプローズタワー会議室、神戸女学院大学（西宮市内）、MERS事務所等
- ・文献・資料調査：MERS事務所・HIV訴訟原告団事務所

(2) について

- ・聞き取り調査・文献調査：MERS事務所、調査対象者の指定場所、文献の所在地

【実施日時】

(1) について

- ・4/5 若手研究者勉強会（患者診察同行、大阪医療センター）
- ・4/26 関西調査打合せ（MERS事務所）
- ・5/12 仙台調査打合せ（MERS事務所）
- ・6/25 調査研究会（大阪梅田アプローズタワー13F会議室、大阪市）
- ・7/21 若手研究者勉強会（関西のHIV医療体制の変遷その1：MERS事務所）
- ・7/23 第13回調査研究委員会（スクワール麴町：東京都千代田区）
- ・8/25-27 調査研究会合宿（大学協同利用施設UNITY、神戸市西区）
- ・9/26 若手研究者勉強会（関西のHIV医療体制の変遷その2：MERS事務所）
- ・11/30 仙台調査打合せ（東京都千代田区）
- ・12/26 若手研究者勉強会（安部判決文詳読会、MERS事務所）
- ・2/5 若手研究者勉強会（HIVの疫学的な考察、大阪梅田アプローズタワー13F会議室）
- ・2/26 若手研究者勉強会（安部判決文詳読会、MERS事務所）
- ・2/27 調査研究委員会（最終報告書作成に関する意見交換会、MERS事務所）

- ・ 3/20-22 調査研究会合宿（大学協同利用施設 UNITY、神戸市西区）

(2) について

- ・ 聞き取り調査：調査対象者の指定日時に実施、対象者との信頼関係が構築された後は随時実施。
- ・ 文献調査：6/22、6/29、7/6、7/19、7/24、7/25、8/2、9/7、9/20、9/27、10/19、11/2、11/14、07/1/25、2/21、3/7、3/16、3/28

1.3 事業名：薬事・血液・医療行政の監視に関する事業

【内容】

- (1) 花井理事が以下の審議会・検討会等に委員および参考人として参加した。
- (2) 上記審議会資料の整理、精査や日程調整等の窓口業務を行った。
- (3) 審議会の記録等をホームページに掲載・紹介した。

【実施場所】

- (1) については東京都、詳細は【実施日時】記載の場所。(2) については MERS 事務所。

【実施日時】

- (1) については、下記の通り。(2) については随時実施。

- ・ 厚生労働省薬事食品衛生審議会 血液事業部会
 - * 06年12月27日（13：00-15：00、ホテルはあといん乃木坂（健保会館）「フルール」）
 - * 07年3月27日（10：00-12：30、東海大学校友会館「望星の間」）
- ・ 厚生労働省薬事食品衛生審議会 薬事分科会 血液事業部会運営委員会
 - * 06年5月10日（10：00-12：00、ホテルはあといん乃木坂（健保会館）「フルール」）
 - * 06年7月25日（15：00-17：00、霞が関東京會館「エメラルドルーム」）
 - * 06年10月31日（15：00-17：00、ホテルはあといん乃木坂（健保会館）「フルール」）
 - * 07年1月17日（9：00-11：00、ホテルはあといん乃木坂（健保会館）「フルール」）
- ・ 第1回血漿分画製剤の製造をめぐる当面の課題に関するワーキンググループ
 - * 07年2月16日（13：00-15：00、霞ヶ関東京會館 シルバースタールーム）
- ・ 厚生労働省血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会
 - * 06年12月20日（17：00-19：00、霞が関東京會館 シルバースタールーム）
- ・ 厚生労働省血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会「アルブミン製剤」及び「免疫グロブリン製剤」の国内自給推進のための方策に関するワーキンググループ
 - * 第2回（非公開）06年5月2日（17：00-19：00、厚労省5階第12会議室）
 - * 第3回（非公開）06年5月12日（17：00-19：00、ホテル九段會館 桐の間）
 - * 第4回（非公開）06年6月30日（10：00-12：00、ホテル九段會館 桐の間）
 - * 第5回 06年10月26日（10：00-12：00、霞が関東京會館 シルバースタールーム）
- ・ ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会
 - * 第2回 06年11月16日（10：00-15：30、厚生労働省7階 専用第15会議室）
 - * 第3回 07年2月2日（14：00-16：00、東京、虎ノ門パストラル新館6階会議室「アジュール」）
 - * 第4回 07年3月8日（11：00-13：30、東京ドームホテル B1階「シンシア」）
- ・ 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 審査・安全業務委員会
 - * 平成18年度第2回 06年12月4日（14：00-16：00、機構6階西側会議室）
- ・ 独立行政法人医薬基盤研究所 運営評議会

- * 06年7月4日(13:00-15:00、東京国際フォーラムガラスホール棟5階G 502会議室)
- ・平成18年度 血液凝固異常症全国調査運営委員会
 - * 第1回 06年6月13日(15:00-17:00、霞が関ビル33階 東海大学校友会館諏訪の間)
- ・(財)血液製剤調査機構 血液凝固因子製剤委員会
 - * 第39回 06年7月21日(1300-1500 (財)血液製剤調査機構 / 会議室)
- ・平成18年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 分担研究「血液凝固異常症のQOLに関する研究」班 血液凝固異常症QOL調査運営委員会
 - * 第2回 06年10月10日(15:00-18:00、霞ヶ関ビル33階東海大学校友会館 諏訪の間)
 - * 第3回 07年3月7日(15:00-17:00、霞ヶ関ビル33階東海大学校友会館 諏訪の間)
- ・平成18年度厚生労働科学研究費補助金
 - 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業
 - ・患者及び国民に対する医薬品安全性情報の提供のあり方に関する研究
 - 分担研究：患者・国民の医療における役割と教育に関する研究
 - * 07年3月14日(15:00-17:00、大阪医療センター災害医療棟会議室)
- ・日本赤十字社 血液事業審議会
 - * 第11回 06年4月26日(13:30-15:30、日本赤十字社701会議室)

1.4 事業名：各地区血友病患者会に対するネットワーク支援事業

【内容】

2005年度に引き続き、標記事業として主に「血友病とともに生きる人のための委員会(JCPH)」を足場として実施してきた。また2006年5月に行われた世界血友病連盟の世界会議(カナダ、バンクーバー)への渡航準備作業に協力した。特に下記4項目について実施した。

- (1) JCPH 運営委員会への出席と活動協力、援助
- (2) 各地区血友病患者会に対する JCPH の広報・説明会
- (3) JCPH 設立総会シンポジウム報告書の作成協力
- (4) 世界血友病連盟(WFH) 世界会議参加への準備・協力

【実施場所】

- (1) について、はばたき福祉事業団会議室(東京都新宿区)、MERS 事務所
- (2) について、JCPH の説明会については各地の血友病患者会の事務所
- (3)、(4) について、MERS 事務所

【実施日時】

- (1) について、4/17、6/27、8/3、12/22、3/6
- (2)、(3)、(4) について、随時実施。

1.5 事業名：医療情報等の収集及び提供事業

【内容】

- (1) MERS ニュースレターによる情報発信
 - 年3回ニュースレターの発行を行った。
 - 第12号：2006年8月、800部発行
 - [主な記事]

- * MERS シンポジウム報告「HIV・AIDS とともに生きる『薬害エイズ事件』の教訓」を終えて
- * 特別寄稿「知り、考え、動く高校生の歩み」
- * コラム「薬害肝炎・大阪訴訟判決に思う」
- * 各種参加報告「薬害イレッサ訴訟の経過」、「エイズキャンドルパレード」、「医療情報の公開・開示を求める市民の会シンポジウム」
- * 2005 年度 MERS 事業報告

第 13 号：2006 年 12 月、800 部発行

〔主な記事〕

- * 特集 MERS イベント概要報告「生命を育む思想－薬害エイズと医療－」
- * 特別寄稿 (1) 「薬害イレッサ訴訟 証人尋問を通して」
- * 特別寄稿 (2) 「薬害肝炎訴訟の意義と今後」
- * 取材報告 (1) 「我が国唯一の血漿分画製剤工場を目の当たりにして思う－日本赤十字社血漿分画センター見学報告－」
- * 取材報告 (2) 「薬害根絶デー 厚生労働省との協議、成果と課題」
- * 取材報告 (3) 「薬害根絶フォーラム参加報告」
- * 書籍紹介「血にまつわる病から生まれたメトセトラ」

第 14 号：2007 年 3 月、1000 部発行

〔主な記事〕

「生命を育む思想－薬害エイズと医療－」フォーラム記録集

- * 10/14 基調講演録、パネルディスカッション
- * 10/15 フォーラム 1～5 セッション報告

(2) ホームページによる情報発信

- ・ 2006 年度は 1 ヶ月平均 3717 の訪問者数であった。ホームページのアクセスカウンター表示は、07/4/2 現在 12758 (この数字はリピーター訪問者を含まない。昨年度の同時期より実質約 3750 増)。
- ・ 5/31 からはオンラインによる賛助会員申込フォームを設置し、ニュースレターページの一部に賛助会員専用ページを設けた。
- ・ 主な更新として、ニュースレター No.11、12、13、「生命を育む思想－薬害エイズと医療－」広報・概要報告ページ、大阪 HIV 訴訟原告団の協議用資料等の掲載を実施した。

(3) 医療情報等の収集

- ・ 献血血液から作られる血漿分画製剤の工場（日本赤十字社血漿分画センター、北海道千歳市）を見学し、我が国の血液事業の今後や血液製剤の安全性等に関する質疑応答を行った。またその報告をニュースレター No.13 およびホームページに掲載した。

【実施場所】

- (1) および (2) については、MERS 事務所
- (3) については、日本赤十字社血漿分画センター（北海道千歳市）

【実施日時】

- (1) については、第 12 号：2006 年 7 月、第 13 号：2006 年 12 月、第 14 号：2007 年 3 月発行
- (2) については、更新随時。
- (3) については、11/10

1.6 事業名：シンポジウム等の開催事業

【内容】

(1) MERS 主催

a. シンポジウム「HIV・AIDS とともに生きる『薬害エイズ事件』の教訓」

日 時：2006年6月18日（日）14時～16時30分

会 場：リバティおおさかホール

共 催：大阪人権博物館 リバティおおさか

参加人数：80名

第1部：高校生からのメッセージ「今あなたにも伝えたい」松原高等学校「るるくめいと」

第2部：対談 長谷川博史氏、花井十伍氏

※ MERS ニュースレター第12号に報告掲載

b. フォーラムズ「生命を育む思想—薬害エイズと医療—」

日 時：2006年10月14日（土）～15日（日）

会 場：14日 大阪府立女性総合センター ドーンセンター 7F

15日 千里ライフサイエンスセンター

参加人数：のべ250名

14日：

基調講演(1) 「治療行為の不確実性と所与の存在としての患者」養老孟司氏（養老研究所）

基調講演(2) 「未知なる事態に於ける科学者の役割と責任」

小林傳司氏（大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター）

パネルディスカッション 養老孟司氏、小林傳司氏、花井十伍氏（大阪 HIV 薬害訴訟原告団）

15日：

フォーラム1：生まれること、生むこと ～優生思想と当事者～

パネリスト：松原洋子氏（立命館大学大学院）、増山ゆかり氏（財団法人いしずえ）、

早川寿美代氏（大阪ヘモフィリア友の会）

フォーラム2：水俣病と現在

パネリスト：木野茂氏（立命館大学 大学教育開発・支援センター）、

藤田三奈子氏（甲南女子高校）、坂本美代子氏（チッソ水俣病関西訴訟原告）

フォーラム3：医療における医学と倫理

パネリスト：糸和彦氏（熊本大学 発生医学研究センター）、

勝村久司氏（陣痛促進剤による被害を考える会）、花井十伍氏（大阪 HIV 薬害訴訟原告団）

フォーラム4：医師と患者の語りから

パネリスト：山田富秋氏（松山大学人文学部）、日笠聡氏（兵庫医科大学）、

蘭由岐子氏（神戸市看護大学）

フォーラム5：薬害エイズ調査からの報告

・薬害 HIV 感染被害者（患者・家族・遺族）生活実態調査から

パネリスト：山崎喜比古氏、溝田友里氏（東京大学大学院 医学研究科）、

伊藤美樹子氏（大阪大学大学院 医学研究科）

・輸入血液製剤による HIV 感染問題研究委員会から

パネリスト：横田恵子氏（神戸女学院大学文学部）、

好井裕明氏（筑波大学大学院 人文社会科学研究科）、種田博之氏（産業医科大学医学部）

ファイナルフォーラム：全体総括

座長：村上陽一郎氏（国際基督教大学院）

※ MERS ニュースレター第 13 号に概要報告を掲載、特別第 14 号に報告掲載

(2) 後援、協力

- ・ 6/4 財団法人いしずえ主催「みんなのくるま」
（埼玉県所沢市、国立身体障害者リハビリテーションセンター）
- ・ 8/24 薬害根絶デー（東京都、厚生労働省）
※ MERS ニュースレター第 13 号に報告掲載
- ・ 10/18 薬害根絶フォーラム（東京都渋谷区、東京ウイメンズプラザホール）
※ MERS ニュースレター第 13 号に報告掲載
- ・ HIV 訴訟和解 11 周年記念集会
日 時：3 月 24 日 14 時～16 時
会 場：ベルサール九段（東京都千代田区）
主 催：東京・大阪 HIV 訴訟原告団・弁護士、MERS 後援

(3) 大阪人権博物館（リバティおおさか）への協力

大阪人権博物館にて 2006 年 4 月から 2 ヶ月間開催された特別展「HIV・AIDS とともに生きて」に対して、出展資料等の貸出・監修を行った他、関連するイベントの企画・準備作業等への全面的な協力を行った。同博物館において、6/18 にシンポジウム「薬害エイズ事件の教訓」を大阪人権博物館と共催した。

【実施場所】

- (1) および (2) の【内容】記載場所にて実施。
- (3) については MERS 事務所および、大阪人権博物館（大阪市浪速区）

【実施日時】

- (1) および (2) の【内容】記載日時にて実施。
- (3) については 2006 年 4 月から 6 月にかけて実施。

1.7 事業名：HIV 感染症および血友病並びにそれらに付随する疾患の医療推進に資する事業

【内容】

- ・ 薬害肝炎訴訟への支援—血液製剤による HCV 感染患者支援—

2005 年度に引き続き、大阪地方裁判所で争われている薬害肝炎訴訟の被害者支援・協力団体として「薬害肝炎訴訟を支える会・大阪」に、MERS は世話人団体として参加している。主に支える会の事務局的機能を担い、世話人会の開催・ニュースレターの編集・発行を行ったほか、裁判傍聴、薬害肝炎の啓発イベントの開催支援や関係団体等との連絡調整を行った。

2006 年 6 月 21 日に大阪地裁での判決を迎えたが、大阪高等裁判所第一民事部での控訴審が始まった。また大阪地方裁判所第九民事部において第二陣（第 14 番以降）の裁判も同時進行で始まったため、引きつづき訴訟支援を行っている。

また各訴訟の経過・進捗について、随時ホームページ・ニュースレター等で報告した。

【実施場所】

- ・ 支える会世話人会議の運営・参加：長野総合法律事務所
- ・ イベント等の開催支援：下記の通り。

5月14日 薬害肝炎情宣活動（JR京橋駅周辺）

6月3日 裁判決起集会（天満橋）

6月20日 薬害肝炎大阪訴訟結審記念シンポジウム「知ってますか、薬害肝炎。」（中央公会堂）

9月6日 全国薬害肝炎リレー集会～断ち切ろう薬害の連鎖、つなげよう命のちから～（エルおおさか6階会議室）

3月23日 薬害肝炎東京訴訟判決報告集会（東京）、判決行動集会 in 大阪（大阪弁護士会館）

- ・支える会ニュースレター編集：MERS事務所
- ・発行：大川・村松・坂本法律事務所（大阪市北区）、長野総合法律事務所
- ・口頭弁論の傍聴：大阪地方裁判所（大阪市北区）
- ・口頭弁論の報告集会への参加：中之島公会堂、弁護士会館、尼信ビル（大阪市北区）

【実施日時】

- ・世話人会議開催日：6/7、7/11、8/10、9/21、10/24、12/14、1/16、2/16 計8回
- ・イベント等の開催支援：5/14、6/3、6/20、9/6、3/23
- ・支える会ニュースレター編集・発行：6/7、8/1、8/21、9/29、11/1、12/26、2/16 計7回発行
- ・口頭弁論傍聴・報告集会（計8回）
大阪地裁（第一陣）：6/21（判決）
大阪地裁（第二陣）：10/6、11/24、1/12、3/2
大阪高裁（第一陣）：11/14、1/24、3/14

1.8 事業名：薬害防止に資する啓発事業

【内容】

(1) 全国薬害被害者連絡協議会（薬被連）への協力

花井理事が薬被連の代表世話人として薬被連世話人会に参加している。MERS事務局として薬被連のメンバーリストに参加し、花井氏と薬被連との連絡・調整、情報集約等の役割を担った。また薬被連主催のイベント等の開催支援・参加を行い、さらに薬被連の加盟団体である「イレッサ薬害被害者の会」に対する支援の一環としてイレッサ訴訟の口頭弁論傍聴を行った。

(2) 全国各地の大学・関係機関等における特別講義・研修・シンポジウム等への講師派遣

全国各地の大学・高等学校、看護学校等での特別講義や、財団法人エイズ予防財団、大阪医療センター、人権啓発協議会などの研修への講師の派遣を行った。また関係団体の主催するシンポジウム・セミナー等への講師として派遣を行った。

(3) 研修の受入れ等

中学生の総合学習「人権フィールドワーク」（高槻市立第4中学校）、大阪医療センターの「HIV感染症医師実地研修会」において事務所見学・研修を実施した。

【実施場所】

(1) について

- ・世話人会：独立行政法人医薬品医療機器総合機構（東京都千代田区）、京都スモン基金事務所（京都市中京区）
- ・薬害根絶デー（薬被連の要請により交渉記録係として参加）：厚生労働省および文部科学省（東京都）
- ・薬害根絶フォーラムへの参加・協力：東京ウイメンズプラザ（東京都渋谷区）
- ・イレッサ訴訟口頭弁論傍聴：大阪地方裁判所（大阪市北区）

(2) について

・大学・看護学校等での特別講義への講師派遣

立命館大学講義「環境と人間」(4/28、1440-1740、京都市、衣笠キャンパス) オンデマンド収録

大阪市立大学講演(6/22、4時限、大阪市)

東京大学薬学部講演(9/25、1000-1200、東京都、東京大学薬学部総合講堂)

摂南大学講演(12/8、1300-1430、枚方市)

大阪府立大学社会学部「ソーシャルワーク入門」(11/27、堺市)

富山大学講演(12/12、富山市)

北陸大学薬学部(1/19、金沢市)

京都府医師会看護専門学校「当事者から見た地域ケアの課題」(7/11、2時限、京都市山科区)

・研修講師等の派遣

近畿国立病院薬剤師会研修(6/3、1330-1700、大阪医療センター緊急災害医療棟3階)

財団法人エイズ予防財団「平成18年度エイズ予防・啓発教育研修会」:7/28-29、天満研修センター(大阪市北区)

大阪府和泉保健所「保健師・大学生対象 HIV スキルアップ講座」(9/21、和泉市、桃山学院大学)

大阪医療センター「平成18年度薬剤管理・指導業務等研修会」(07/2/23、大阪市、大阪医療センター地域医療研修室)

・シンポジスト等

えにしの会シンポジウム(5/13、1300-1600、東京都、プレスセンターホール)

人権大学(8/29、1300-1530、大阪人権センター)

厚生科研成果発表会「チーム医療ー患者からの発言ー」(9/16、1300、大阪医療センター災害医療棟2階研修室)

(3) については MERS 事務所

【実施日時】

(1) について

・薬被連世話人会:5/20、6/28、9/18、07/1/20、3/17計5回参加

・薬害根絶デー:8/24

・薬害根絶フォーラム:11/18

・イレッサ訴訟口頭弁論傍聴:7/29、12/7、1/11、2/27、3/6

(2) について

・【内容】【実施場所】記載の日時。計15回

(3) について

・高槻第4中学校総合学習「人権フィールドワーク」:10/19

・大阪医療センター「HIV感染症医師実地研修会」:10/20

IV 社員総会の開催状況

名称：特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権 第5回定時社員総会

定款第19条ないし第27条の規定に基づき、定時（通常）社員総会を開催した。

（ただし、任意団体設立時から数えて第5回総会）

日時：6/18 11:05 - 11:54

場所：大阪市立浪速人権文化センター会議室1（大阪市浪速区）

社員総数：21名

出席者数：17名（うち委任状出席者数9名）

【議案の内容】

- ・第1号議案：2005年度事業報告書並びに決算報告書の承認
- ・第2号議案：理事及び監事任期満了による改選
- ・第3号議案：2006年度活動方針・事業計画案並びに予算案の承認

【審議結果】

- ・全ての議案について、いずれも全員異議なく承認可決。

V 理事会の開催状況

【日時】5/1 19:05 - 20:30

【議案の内容】

- ・第1号議案：2006年度の運営体制に関する討議
- ・第2号議案：2006年度理事会日程に関する討議
- ・第3号議案：総会提出議案に関する討議
- ・第4号議案：MERS主催フォーラム・シンポジウムに関する討議

【審議結果】

- ・第1号-第4号議案全ての議案について、出席理事の意見を採り入れ承認可決。

【日時】8/28 19:15 - 20:30

【議案の内容】

- ・第1号議案：MERS主催イベントに関する討議
- ・第2号議案：事業計画・運営に関する討議

【審議結果】

- ・第1号議案、出席理事の意見を採り入れ承認可決。
- ・第2号議案、意見交換を行い、引きつづき検討事項とした。

【日時】10/28 14:00 - 16:30

【議案の内容】

- ・第1号議案：MERS主催イベントの振り返り・今後に関する討議
- ・第2号議案：調査研究事業・運営体制に関する討議

【審議結果】

- ・第1号議案については出席理事の意見を採用し承認可決。
- ・第2号議案については出席理事の意見を採用し、引きつづき検討事項とした。

【日時】 12/11 18:30 - 20:00

【議案の内容】

- ・第1号議案：事務局員募集に関する討議
- ・第2号議案：2007年度定時社員総会に関する討議
- ・第3号議案：事業計画に関する討議

【審議結果】

- ・第1号議案について、出席理事の意見を採用し承認可決。
- ・第2号議案について、出席理事の意見を採用し、総会日程については承認可決。会場については引きつづき検討事項とした。
- ・第3号議案について、出席理事の意見を採用し一部承認可決。一部は引きつづき検討事項とした。

【日時】 2/19 19:00 - 20:00

【議案の内容】

- ・第1号議案：2007年度定時社員総会・理事会・事務局体制に関する討議
- ・第2号議案：2007年度の事業計画に関する討議

【審議結果】

- ・第1号議案について、出席理事の意見を採用し承認可決。理事会の開催日程については、引きつづき連絡調整を行うことになった。
- ・第2号議案について、シンポジウム開催については引きつづき検討議題とし、企画案を事務局から提示することになった。調査研究事業については、出席理事の意見を採用し承認可決。

以上